

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション

コード番号 9385 URL <http://www.shoei-corp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 芝原 英司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 有村 芳文

TEL 06-6233-2636

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,228	4.2	27	△18.4	20	△34.3	9	△10.1
23年3月期第2四半期	4,057	△13.9	33	△79.4	31	△77.5	10	△84.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.40	—
23年3月期第2四半期	1.55	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	3,967	1,718	43.3	250.87
23年3月期	3,367	1,766	52.5	257.84

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,718百万円 23年3月期 1,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,714	6.9	133	24.6	118	18.6	53	59.7	7.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	6,850,000 株	23年3月期	6,850,000 株
24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期2Q	6,850,000 株	23年3月期2Q	6,850,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び電力供給不足の影響による停滞から復興需要等もあり一部持ち直しの動きが見られたものの、欧米の財政不安や、それに伴う景気の先行不安による急激な円高、株安など先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社を取り巻く環境は、東日本大震災により一時は混乱した原材料の供給も現在では落ち着きを取り戻しつつあるものの、その原材料価格が値上がりするなど事業環境は依然として厳しい状態が続きました。このような中、当社では原材料の一部を海外から調達するなど生産体制の維持に努めました。またパッケージサービスの一気通貫メーカーとしての体制を、より強化するための生産拠点として、この7月に大阪第2センターを竣工いたしました。これにより生産能力の増強とともに品質管理体制の整備、新たに化粧品及び医薬部外品等への取扱領域の拡大を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は4,228百万円(前年同期比4.2%増)となり、利益面においては、世界的金融不安を起因とした年金資産の時価下落に伴う退職給付費用増加の影響を受けたこともあり、営業利益は27百万円(前年同期比18.4%減)、経常利益は20百万円(前年同期比34.3%減)、四半期純利益は9百万円(前年同期比10.1%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(パッケージ事業)

パッケージ事業につきましては、震災後の原材料供給については一時の逼迫状態からは脱しつつあるものの、原材料価格の値上がりなど厳しい状況が続きました。こうした中、セット販売及び提案型営業による拡販に注力し、前年同期に対して取引件数、売上金額とも上回る結果となりました。

この結果、当事業の当第2四半期累計期間の売上高は3,158百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

(メディアネットワーク事業)

メディアネットワーク事業につきましては、震災前から続く物流費の圧縮、特に震災後は大口先のDM発送の規模がさらに縮小する中、中小口案件向けの一気通貫サービスの提供に引き続き注力しましたが、節約志向を背景とした個人消費の冷え込みにより当事業全体の取扱通数の減少は続いており減収となりました。

この結果、当事業の当第2四半期累計期間の売上高は1,070百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は3,967百万円となり、前事業年度末に比べ600百万円増加しました。これは主に新工場完成に伴い有形固定資産が増えたことや受取手形及び売掛金の増加等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債合計は2,249百万円となり、前事業年度末に比べ648百万円増加しました。これは主に借入金や支払手形及び買掛金の増加等によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は1,718百万円となり、前事業年度末に比べ47百万円減少しました。これは主に配当金の支払い等による利益剰余金の減少等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第 2 四半期累計期間における業績の進捗を勘案し業績の見直しを行った結果、平成23年 5 月12日に公表いたしました予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日（平成23年11月 9 日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	223,472	202,060
受取手形及び売掛金	1,390,149	1,625,262
製品	176,547	215,623
仕掛品	83,836	103,864
原材料	15,094	95,563
未収消費税等	—	15,222
その他	308,461	191,147
貸倒引当金	△12,855	△14,555
流動資産合計	2,184,705	2,434,188
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	105,586	450,676
土地	599,420	636,420
その他(純額)	113,336	91,219
有形固定資産合計	818,342	1,178,316
無形固定資産	34,645	28,309
投資その他の資産		
その他	358,033	358,544
貸倒引当金	△28,378	△31,726
投資その他の資産合計	329,654	326,817
固定資産合計	1,182,642	1,533,443
資産合計	3,367,348	3,967,632
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	605,820	685,630
短期借入金	500,000	740,000
1年内返済予定の長期借入金	90,000	142,467
未払法人税等	9,600	14,393
未払消費税等	7,858	—
賞与引当金	82,567	64,198
その他	113,950	113,482
流動負債合計	1,409,797	1,760,171
固定負債		
長期借入金	22,500	305,042
退職給付引当金	3,675	28,032
役員退職慰労引当金	129,244	131,944
その他	35,913	23,995
固定負債合計	191,332	489,013
負債合計	1,601,130	2,249,184

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31 日)	当第 2 四半期会計期間 (平成23年 9 月30 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	229,400	229,400
資本剰余金	146,800	146,800
利益剰余金	1,400,843	1,359,033
株主資本合計	1,777,043	1,735,233
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,825	△16,785
評価・換算差額等合計	△10,825	△16,785
純資産合計	1,766,217	1,718,448
負債純資産合計	3,367,348	3,967,632

(2) 四半期損益計算書
第 2 四半期累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	4,057,071	4,228,818
売上原価	3,397,306	3,579,417
売上総利益	659,765	649,401
販売費及び一般管理費	626,099	621,925
営業利益	33,665	27,476
営業外収益		
受取利息	665	523
受取配当金	1,547	1,341
保険解約返戻金	3,200	—
その他	108	1,043
営業外収益合計	5,521	2,908
営業外費用		
支払利息	2,204	4,237
手形売却損	3,443	3,932
支払手数料	1,000	1,000
その他	696	292
営業外費用合計	7,345	9,463
経常利益	31,842	20,921
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,263	—
特別損失合計	8,263	—
税引前四半期純利益	23,578	20,921
法人税、住民税及び事業税	24,980	11,583
法人税等調整額	△12,047	△226
法人税等合計	12,933	11,356
四半期純利益	10,645	9,564

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。